

下野市の男女共同参画の現状と課題



本市で取り組むべき事項を把握するため実施したアンケート調査等の結果から、次のような課題が見えてきました。

管理職になることへのイメージ

「仕事と家庭の両立が困難になる」と答えた割合

男性…19.7% 女性…**35.4%**

▶管理職になることで仕事と家庭の両立が困難になると答えた割合は、女性でより高い数値となりました。女性のリーダーを増やすためには、仕事と家庭の両立を支援するサービスの充実や、性別にかかわらず家事などを担えるよう、長時間労働を改善する必要があります。

家庭での役割分担の満足度

不満を感じている割合
（「やや不満」「大変不満」と答えた割合の合計値）

男性…6.2% 女性…**31.5%**

▶家庭での役割分担に不満を持つ割合には、性別で差があります。それぞれが不満を感じない分担が可能となるよう、性別による役割分担意識の解消や、就労環境の改善等が求められます。

DV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口の認知度

DVの様々な相談窓口について「いずれも知らない」と答えた割合

平成27年度…50.9%

↗ 令和元年度…**56.7%**

▶相談窓口を知らない市民が多いため、相談窓口の情報提供を強化する必要があります。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意見

反対であると答えた割合（「どちらかと言えば反対である」「反対である」と答えた割合の合計値）

平成27年度…30.4%

→ 令和元年度…**35.7%**

▶性別に基づく役割分担意識は改善傾向にありますが、引き続き啓発活動を実施することが重要です。

基本目標Ⅰ

女性の活躍とワーク・ライフ・バランス 実現に向けた環境づくり

【下野市女性活躍推進計画を含む】

すべての人が希望するワーク・ライフ・バランスを実現しやすい職場環境をつくるための取組を支援します。

また、様々な分野で女性の意見がより反映されやすい環境づくりを進めます。

基本目標Ⅱ

だれもが安心して活躍できる 社会を支える基盤づくり

男女が共にあらゆる分野で活躍できるよう、子育て支援や介護支援を充実させます。

また、困難を抱える市民が安心して暮らせる環境を整備します。

基本目標Ⅲ

あらゆる暴力の根絶と 被害者支援の体制づくり

【下野市配偶者等からの暴力対策基本計画】

DVやハラスメント等、あらゆる暴力による差別的行為の根絶に向けて、市民に対して暴力防止の啓発に取り組みます。

また、関係団体・機関と協力して、暴力被害に関する相談体制・支援体制の充実を図ります。

基本目標Ⅳ

人権の尊重と男女共同参画の 意識づくり

人権や性に関する正しい知識についての学習機会を提供し、人権尊重意識や男女共同参画意識の定着を図ります。

また、あらゆる場において幅広い視点の意見が尊重されるよう、地域活動への積極的な参加を促します。